

企業における知的財産戦略

オンライン開催 (Zoom)



IPrism

大阪大学法学研究科「知的財産法プログラム」は、実践科目「企業における知的財産戦略」のうち一部を、社会人・学生向けに公開講座として提供いたします（無料、全7回）。

公開講座として提供する講義においては、様々な業界における最先端の知的財産戦略がどのようなものであるかについて、企業等において知的財産戦略の立案・遂行を担っているゲストスピーカーを招き、お話を頂きます。

公開講座は、社会情勢に鑑みて、オンラインによるリアルタイム配信（Zoom）にて行います。参加をご希望の方は、右記のQRコードからお申し込みください。

2021年
10月22日(金)
19:00 開講
(毎週金曜日
19:00-20:30)



申込締切：
参加希望回の2日前
(同じ週の水曜日)

回	月/日	ゲストスピーカー
1	10/22	グンゼ株式会社 経営戦略部 知的財産室、弁理士 小畑 裕士 氏
2	10/29	株式会社アシックス 法務・知財統括部 知的財産部 部長 齊藤 浩二 氏
3	11/12	顧客価値共創堂 代表 (元 P&Gジャパン マーケティング本部 マネージャー) 桃谷 修司 氏
4	11/19	パナソニック株式会社 知的財産センター 知財戦略部長 若代 真吾 氏
5	11/26	川崎重工業株式会社 技術開発本部 技術企画推進センター 知的財産部 部長 福岡 誠 氏
6	12/ 3	アストラゼネカ株式会社 執行役員・法務部長、NY州弁護士、博士(法学) 足立 勝 氏
7	12/10	フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 投資本部 投資1部 赤岩 優介 氏

<講義概要・ゲストスピーカー略歴>

10月22日 **グンゼ株式会社 小畑 裕士 氏**

講義概要

「アパレル事業と Fashion Law」について講義します。

「Fashion Law」とは、ファッション産業に関わる知的財産法、契約法、会社法、商法、不動産法、労働法、広告法、国際取引法、関税法等を含む法領域の総称です。

講義では知的財産法を中心に当社のアパレル事業(肌着、靴下)との関わりを成功事例・失敗事例を交えながらお話しします。「知財」で「アパレル」をいかに守るか? 受講生の皆様と一緒に知財戦略について考えたいと思います。

ゲストスピーカー略歴

弁理士 小畑 裕士 (グンゼ株式会社 経営戦略部 知的財産室)

1988年鳥取大学大学院農学研究科修了。同年グンゼ株式会社に入社後、主にバイオ関連製品の研究開発を担当。1996年以降は、同社知的財産部門で、出願・権利化、パテントクリアランス、知財管理、訴訟対応、契約チェック等、知財関連業務を広く担当している。

日本弁理士会関西会 国際情報委員会所属

10月29日 **株式会社アシックス 齊藤 浩二 氏**

講義概要

企業が立ち向かう知的財産問題について、以下、当社事例を取上げて解説する。

- 1) アシックスにおける知的財産組織とその役割、姿勢
- 2) 知的財産活動に求められる戦略的思考 (IPランドスケープの活用)
- 3) 知的財産を取り巻く社会動向 (コーポレートガバナンスコード改訂)
- 4) 戦略的ブランド保護活動事例の紹介 (商標武装した模倣品との闘い)

これらの考え方は、知的財産業務に限らず、企業組織マネジメントにも通じるものであり、併せて知財担当スタッフの意識改革並びに人材育成に活かされていることについても触れる。

ゲストスピーカー略歴

米国赴任を含む大手家電メーカーでの勤務を経て、2015年10月より現職。研究職を経験した後、1991年より知的財産部門に移籍、社内啓蒙・発明発掘・権利化・訴訟・契約・譲渡などの国内外知的財産関連実務を研鑽、また、経営に資する知的財産としてのブランド資産にフォーカスし、ブランド保護やブランド戦略実務にも携わる。アシックスでは知的財産部門の改革と共に、新規事業プロジェクトなどへの早期知的財産介入を呼びかけ、全社啓蒙及び知的財産リスクヘッジにも取り組む。日本知的財産協会 (JIPA)、国際商標協会 (INTA)、日本商標協会 (JTA)、経済産業省産業構造審議会知的財産分科会の理事又は委員を務める。

11月12日 顧客価値共創堂 桃谷 修司 氏

講義概要

P&G 洗濯関連用品事業部は、2000年代初めからグローバル戦略の1つとして、衣類のケアやディッシュケアの分野で異業種との戦略的提携活動を推進していました。単に洗剤を開発して販売することを超えて、より良い「お洗濯やお皿洗い」を消費者に提供することで、様々な生活課題を解決する社会貢献がそのパーパス（目的）でした。

異業種の外部企業からこのパーパスへの共感を獲得して、単なる商品や技術、お金や試供品のやり取りではない、真に戦略的な提携活動を実現した実例と、そのキーポイントをお話しします。

ゲストスピーカー略歴

2019年にマーケティング・コーチングを行う顧客価値共創堂を創業。それまで約30年間企業でマーケティング業務に携わった。

P&G ジャパンで1990年から17年半、洗濯関連用品のマーケティングに関わった。まず、衣料用洗剤・柔軟仕上げ剤のブランドマネジメント、グローバルの新商品発売計画の立ち上げを担当。その後、約10年間アジア地域での家電・アパレルメーカーとの戦略的提携を推進し、日本では衣料用液体洗剤とドラム式洗濯機の普及に貢献。

2007年、日世(株)に転じ、海外事業とブランドソフトクリームクレミア発売計画の立ち上げを担当。その後も(株)シャルレ、味の素(株)で国内・海外の新規事業と新製品開発を担当。

11月19日 パナソニック株式会社 若代 真吾 氏

講義概要

電機業界は、2000年以降はグローバル競争からGAFに代表される巨大プラットフォームの台頭による産業構造の変化、さらにはリーマンショックによる厳しい経営環境から事業ポートフォリオの再構築を活発に進めるなど、事業環境の変化に応じて知財戦略や活動の内容も大きく変革している。パナソニックでの知財活動の変遷をもとに、知財の役割の拡大や、事業・経営との関わり、また課題についても触れたい。

ゲストスピーカー略歴

1992年松下電器産業(株)(現：パナソニック(株))入社以来、権利構築から活用、戦略まで、知的財産に絡む幅広い業務を担当。特に2000年以降は、デジタルネットワーク分野を中心に国内外ライセンス及び北米NPE係争・訴訟対応に従事。2009年より知財戦略を担当し、2011年～14年にかけてはパナソニック知財アメリカ(株)の経営管理担当副社長として米国駐在。帰国後はグローバル知財戦略担当として、パナソニック R&D シンガポール(株)の知財責任者を兼務。2019年より知財戦略部長としてコーポレート知財戦略全般を統括。

講義概要

川崎重工グループの歴史は、創業者である川崎正蔵が「そのわざを通じて国家に奉仕する」との理念をもって、1878年に川崎築地造船所を開設したことに遡ります。以来、当社グループは陸・海・空の幅広い事業分野で、ものづくりを通じて高い技術・知見を培い、それぞれの時代において、革新的な技術を基盤にさまざまな価値を提供してきました。このような取組みのなかでの当社の知財活動について紹介します。

ゲストスピーカー略歴

- 1990年 川崎重工業株式会社 入社
水門鉄管、大型可動構造物、種子島宇宙センター射点設備の設計などに従事
- 2000年 知的所有権部 特許G r
- 2008年 知的財産部 第一課長
- 2012年 知的財産部 第一課長 兼 第三課長
- 2018年～ 知的財産部長

社外

- 2018年度～ 一般社団法人 兵庫県発明協会 理事
- 2018年度～ 公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団 評議員
- 2018年度～ 日本経済団体連合会 知的財産委員会 企画部会 委員
- 2019年度～ 一般社団法人 日本知的財産協会 常務理事

講義概要

講師が食品業界及び製薬業界それぞれで法務・知財の業務を担当するなかで、知財業務を通じてビジネスに貢献してきた事柄、バックボーンとして意識してきたことを紹介する予定である。

実際のビジネスのなかで知財業務の役割、知財活用の状況を理解するうえで参考にしてもらいたい。また、法律だけですべてが解決しない状況での対応についても触れたい。

ゲストスピーカー略歴

日本コカ・コーラ株式会社にて、知財を含む法務全般を担当後、2015年より医療用医薬品企業であるアストラゼネカ株式会社にて執行役員・法務部長を務める。

早稲田大学知的財産法制研究所招聘研究員、発明推進協会知的財産研修・経営課程講師、日本弁理士会中央知的財産研究所研究員等も務める。

著書・論文として、『アンブッシュ・マーケティング規制法—著名商標の顧客誘引力を利用する行為の規制—』（創耕舎 2016）、「証明商標制度について」別冊パテント 25号（2020）、「周知・著名商標に対するアンブッシュ・マーケティング」別冊パテント 21号（2019）ほか。

本講義は、講師個人の見解に基づくものであり、講師の所属団体・組織の見解ではありません。

講義概要

事業会社、ベンチャーキャピタルと異なる立場での経験を元に、それぞれの立場で知的財産をどのように捉えてきたか、違いを感じた点などご説明させていただければと思います。特に現職で携わっている研究開発型ベンチャーへの投資判断や支援内容などにも触れながら講義させていただきます。

ゲストスピーカー略歴

大阪府立大学大学院 工学研究科 応用化学専攻修了。

新卒で帝人に入社し、繊維部門のウェアラブル事業立ち上げ、新事業部門にて社内ベンチャーのスタートアップメンバーとして事業立ち上げに携わる。ハードウェア系新規事業の推進、外部とのアライアンス形成を行ってきた。

経済産業省「始動 Next Innovator 2017」第3期生。2019年7月より Future Venture Capital に参画。

CVC 設立、運営、大企業のオープンイノベーション支援に携わる。

投資担当として、主に研究開発型ベンチャーへの投資・成長支援を行っている。